

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北陸)	-	-	-	-
		スーパー（店舗管理）	販売量の動き	・来客数は依然として低迷している。1品単価の上昇により客単価も上昇しているが、一時的なものとみている。買上点数の落ち込みは、購買意欲の低下があると考ええる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客単価が変わらない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数は減っているが、必要品の購入を目的とした客となっており、購入点数は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でイベント等を自粛せざるを得ない状況で、営業活動もやりにくい状態が続いている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・当社の提供するサービスは日常生活に根付いたものであり、新規獲得件数は昨今の新型コロナウイルスの影響は特になく、前年同期とほぼ同程度の達成を見込む。
		通信会社（店舗統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響はなく、3月は例年どおり新規契約の学生客がいる。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・放送、通信サービス共に契約数が好調である。好調だった前年同期と比べても若干増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・郊外ショッピングセンターの増床という競合先の変化や、暖冬、消費税の引上げに加えて新型コロナウイルスと、入込客が大幅に減少している。元々インバウンド客は少ないため、影響は少ないと考えていたが、国内客や地元客も外出を控える傾向が出てきている。路面電車の南北の接続による活性化に期待しているが、祝賀イベントが軒並み中止になっており、宣伝効果はマイナスである。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が少なくなっていると考ええる。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・例年この時期は週末を中心に来客数が増えてくるのだが、今年はまばらで来客数が非常に少ない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・午後から夜間にかけての来客数が減少している。午前は伸びてはいるが、全体的に減少傾向である。早い時間で買い回りを済ませ、午後のピーク時を敬遠している様子である。
		衣料品専門店（店舗運営）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により中国からの入荷が遅れ、オケージョンアイテムの売り逃しがある。
		家電量販店（本部）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。下旬にかけて若干来客数は戻ってきているが、前年には届かない。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・自動車業界は飲食業などに比べると新型コロナウイルス関連の影響は少ないが、それでも客が外出を控えたり、自粛ムードで自動車購買意欲が減少するなど、じわじわと悪化がみられる。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・例年の春商戦と比べて明らかに来客数と単価が下がっている。車検や車販売の需要低下に、新型コロナウイルスの影響が追い打ちを掛けている。会員招待の販促イベントは開店前から多くの客が並んだが、粗品だけで帰る客やチラシの特価品のみ購入する客が多く、期待した商売にはならなかった。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・1年以上、売上、来客数共に前年を上回ってきたが、今月は新型コロナウイルスの影響と、前年同月より土曜日が1日少なく、定休日の月曜日が1日多い日並びの影響が重なり、売上は何とかクリアしそうだが、来客数は5%程度落ち込みそうである。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、住宅展などのイベントの来場者数が減少している。
		住宅販売会社（営業）	お客様の様子	・客足が止まり始めている。新型コロナウイルスの感染防止のために外出を控えたいとのことから、商談中止や延期等の影響が出始めている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・外出の自粛要請といった影響が大きいようで、みるからに入込が少なくなっている。

×	商店街（代表者）	それ以外	・不要不急の外出を控えるよう求めた2月16日以降は、通行量を含めて全てが激減している。近隣の美術館が再開した3月17日以降は大学生など若い人が数多く歩いているが、買物袋を持っている人はいない。
×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	それ以外	・仕入先の数社が新型コロナウイルスの影響で商品の出荷が滞り、入荷のめどが立たない。
×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・言うまでもなく悪い。いまだかつてない悪さである。
×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・日を増すごとに来客数が減っている。特に月末に首都圏で外出自粛要請が出て以降は、北陸においても影響があり、来客数が激減している。地元客や観光客の外出を控える動き、自店の集客催事の中止、訪日外国人観光客の激減とトリプルパンチとなっている。特に免税の売上は最悪の状況で、9割減の見通しである。
×	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、行事、セレモニー等の延期や中止が相次ぎ、関連する記念品や引き出物、セレモニーグッズ、フレッシュアーツ等のウェアが打撃を受けている。ゴールデンウィークに向けたトラベル需要も激減し、関連したバッグなどの雑貨やウェアにも影響を及ぼしている。
×	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・2月下旬から新型コロナウイルス関連の影響で、来客数が減少し始めた。3月前半は当県での感染者がいなかったため、高齢者以外の来店は比較的多く、セール商品など低価格商材は前年比の120%程度と好調に推移した。紳士物のパーゲンセールなども前年並みだった。しかし、中盤以降に県内で感染者が発生してからは、来客数が更に減少した。購入商品は必需品とギフトのみとなる。5000円程度と単価も低く、節約志向が強い。高齢者の来店が大幅に減ったが、県外に行けない若者は来店の減少幅が少ない。
×	スーパー（店長）	お客様の様子	・行楽の自粛や外食を控える動きから、スーパーマーケットは単価が上がっている。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により来客数が減少している。客単価は上がっているが、それ以上に来客数が減少している。
×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・平日の昼間は前年とそれほど変わらない。それどころか、食料品に関してだけ言えば、飲食店で昼食をとることを避けようとする客が増え、売上は上がっている。ただし、夕方以降と週末の売上が激減している。全てを合わせて考えると、トータルで5%強売上が下がっている。
×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・多分に漏れず新型コロナウイルスの影響がある。特に夕方以降の来客数が激減している。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・暖冬の影響が終わって、これからというときに新型コロナウイルスが出てきて、人出や営業時間に大きく影響が出ている。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月に入ってからは新型コロナウイルスの影響で、公の施設を借りての展示会ができず、店への来客数も少なくなり、販売数は前年の75%ほどに落ちている。
×	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がある。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・とにかく悪い。新型コロナウイルスが、これほど経済をひどくするとは思もしなかった。これから先がどうなるか危惧している。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大のため、外出を控える傾向が続いており、来客数が少ない。生活必需品関連が堅調といった部分はあるが、全体の来客数減の影響の方が大きいため厳しい状態が続く。
×	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、企業接待、異業種会合、社内送別会などが軒並みキャンセルとなり、料亭部門では来客数が前年比の約30%まで落ち込んでいる。
×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・各種会合等の延期や中止により、宴席需要がほとんどない。
×	一般レストラン（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの終息がみえず、長期化を見込む。先の見えない状況が続いており、自宅に籠もりっきりの様子である。

	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・前月中旬より、新型コロナウイルスの影響がますます出てきており、繁華街は人通りが少なく閑散としている。この状態では客が呼べず、売上は前月の6割で赤字である。先々のことを考えるとため息が出る。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる、外出自粛や飲食店利用の自粛などの影響が大きく、3月は入込数、売上共に前年比で60%減である。
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上は87%、宿泊人数は89%、宿泊単価は95%である。2月は個人旅行が戻り、新型コロナウイルスの影響を最小限にとどめた。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛要請でキャンセルが続き、宿泊部門は前年に比べ80%減、宴会部門は90%減、レストラン部門は70%減である。歓送迎会は全くない。
	×	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、宿泊部門では観光、ビジネス及びインバウンド客が激減している。レストラン部門では、3月1日より朝食、ランチ、ディナー共にバイキング形式のレストランで提供形態の変更や営業時間の短縮などを行うが、予約は低迷している。宴会部門は各種宴会がほとんどキャンセルとなる。今後の見通しも立たない未曾有の事態に直面している。
	×	旅行代理店（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの流行による旅行中止や延期が多数あり、先の見込みも全く分からない状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、会合や送別会はキャンセルとなっている。外出を控えており、夜の繁華街も人出は非常に少なくガラガラ状態である。新幹線の利用も少なく、タクシーは昼夜を問わず売上は半分以下である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。観光客はほとんどなく、駅にはタクシーがあふれ、夜の繁華街は空車だけである。売上は半分近く落ちている。
	×	通信会社（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で中国の通信、建築関係の製品や部品の入荷が困難である。間接的な部分であっても影響は大きい。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による様々な自粛の影響により、国内の団体客や個人客、海外からの客の来客数が大幅に減少している状況である。
	×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で休会や退会が大幅に増えている。日々の利用者数も25%以上の減となっている。休講しても、フリーランスへの講師料の支払を60%行っている。いつまで続けていけるかは体力次第である。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月は影響が小さかったが、今後ますます新型コロナウイルスの影響で、個人及び法人の消費が落ち込むと考える。
企業 動向 関連  (北陸)		-	-	-
		-	-	-
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・ここ1年ほど毎月のように売上の前年割れが続いている。食品製造業である当社における新型コロナウイルスの影響は、プラスとマイナスの両面があるように感じているが、今のところどちらともいい難い状況である。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注高は横ばいで推移している。
		通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・当月は今年度最高額である。今後の上昇傾向を期待したいが、既に受注済みで来月に降に計上する案件はあるが、新たな見込み案件が積み上がらない。
		司法書士	取引先の様子	・不動産関係では低金利の住宅ローンでの新築案件が多い。会社関係では年度末に向けて解散手続きをする会社が多い。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスのまん延による消費の落ち込みや買い控えなどが、新築や増改築の住宅着工戸数の減少を招いており、その影響により、受注量も減少傾向にある。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内、米国、欧州の全ての市場で受注量が前年に比べ落ちている。

	建設業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスによる景気減速で、設備投資は減退方向である。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今は買う客がなかなかいないという話と、法人からの問合せが全くないということと同業者から聞いているため、やや悪くなっている。
x	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている。国内各地の外出自粛なども影響し、非常にものの動きが悪くなっている。これは国内だけではなく、我々のように海外に輸出している部門も同じ状況で、出荷したものが港に止まっているというケースもある。
x	精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、店舗自体への来客数が極端に減っている。海外においては外出禁止や、エリアによって店舗封鎖なども行われている。
x	建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスへの感染予防ということから、種々の会合やパーティーなどが全てキャンセルになっている。繁華街の飲食店も閑散としている。
x	金融業（融資担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響から、飲食店を中心とした小売業者からの制度融資の相談や融資申込みが急激に増加している。また、中堅会社の資金繰り見通しも厳しい状況にある。
x	税理士（所長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客のうちの観光バス業は壊滅的で、売上は前年比で1～2割の状態である。バス運転手も仕事がなくて困っている。飲食業関係も来客数が半分以上で、当地のように感染者がいない地域でも落ちている。建設業、製造業については今はまだ受注残があるが、部品の納入が遅れていることから工事が非常に遅れている。そのことで売上が遠のき、4～5月以降の見通しが全く立っていないという厳しい状況である。
雇用 関連	-	-	-
(北陸)	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・掲載件数に余り変化がない。
	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・世の中は人材不足だが、派遣の需要件数は減少している。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・社会情勢の不安定さが拡大している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・2月の有効求人倍率は1.78倍と、前年同月と比べると0.41ポイントの大幅な減少となっている。産業別では、生活関連サービス業、娯楽業で17.7%の増加となったほかは、全ての産業で減少しており、建設業、製造業、宿泊業、飲食業で減少幅が大きい。特に宿泊業、飲食業は、求人数が前年同月の半分程度まで落ち込んでいる。当初は米中貿易摩擦を原因として、中国からの材料や部品が入ってこないなどを理由に、製造業を中心に求人を控える傾向があったが、その後新型コロナウイルスの影響から、全ての産業、特に宿泊業、飲食業に大きな影響が出ている。
	民間職業紹介機関（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が広がるなか、多数のイベントが中止となり、人の動きが減って消費減、売上減となっている。受託していた学生向け就職支援行事が中止となり、契約変更で減額となっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・予定していた求職者向けの企業説明会の多くが開催中止になっている。
x	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で業種を問わず、各企業の売上が平均して前年比4割程度と聞く。特に集客面で人が集まることを恐れ過ぎている感があり、根深いダメージがある印象を受ける。
x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルス禍による経済活動の停止が全てである。